

Ⅱ 乳幼児をもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅱ-12

子どもの心に寄り添って… ～子どもの心のおくのおく、見えていますか～

対象：乳幼児をもつ保護者（学童期も可）

時間：60分程度

ねらい	○ 子どもの自尊感情を育むことの大切さに気づき、子どもの権利を意識した関わりについて考える。		
実施のポイント (評価など)	○ 何気ない親の一言やふるまいが子どもの心を傷つけることもあることに気づき、子ども一人一人が尊重され、権利が守られる中で成長していくことが、子どもの自尊感情を育む上でも大切であると感じることができるようにする。		
事前準備	○ あらかじめ4～6人のグループに分かれておく。(グループ編成は、参加対象を考えて編成し、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮する。 ○ 時計 ○ 名札 ○ 筆記用具 ○ 付せん紙 ○ 模造紙 ○ マジック ○ 資料 ○ ワークシート		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 5分	ワークの趣旨説明 ○ アイスブレイク (自己紹介)	・参加者の緊張をほぐし、和やかな雰囲気をつくる。 ・自己紹介をし、互いに親近感がもてるようにする。	
展開 15分	●ワーク1 ・子どもの意欲や思いをそいでしまうような親の言動を付せん紙に記入する。 ・グループで話し合う。	◎エピソードのように子どもの意欲や思いをそいでしまうような親の言葉を話し合うことで、日頃の子育てを見直すきっかけとなるようにする。 ・普段、口癖になっている言葉(例:「早くしなさい。」「何度言ったらわかるの!」等)や、関わり等を振り返り、付せん紙に書き込む。 ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り出し発表する。発表では付せん紙に書いた場面のエピソードを少し詳しく語るなど、互いに状況把握が出来るように促す。また、似た内容のものを近くに貼るなど貼り方を工夫することで、グループ内での関わり方の傾向をみることができるようにする。	・エピソード ・ワークシート1 ・付せん紙 ・マジック ・模造紙
・絵本活用の場合 15分 ・資料活用の場合 10分	●絵本の読み聞かせ または資料の紹介	◎絵本または資料を通して、普段の子どもへの関わりについて、自分自身を振り返ることをねらいとする。 [絵本の読み聞かせを選択する場合] ・母子の気持ちを感じられるよう、工夫して絵本を読む。 ・読み聞かせ後、絵本の感想を交流する。絵本の話についての感想でも良いし、自分自身を振り返りながら日頃の子育てに重ね合わせた感想でも良い。 [資料の紹介を選択する場合] ・資料を用いて、子育てのヒントにつながる絵本や岡山県の人権教育の方向性について紹介することで、就学前に必要な大人の関わり方について確認する。	・絵本「ママがおこるとかなしいの」 ・資料1・2
・絵本活用の場合 20分 ・資料活用の場合 25分	●ワーク2 ・子どもの思いを大切にしたい関わり方をワークシートに記入する。 ・グループで話し合い、共有する。	◎親として、子どもの思いを大切にしたい関わり方について考えることをねらいとする。 ・ワーク1や紹介した絵本、資料を踏まえ、普段の関わりを振り返って、今後心がけていきたいことを出し合う。子どもの気持ちに寄り添った言葉、やる気を促す言葉や関わり方について、どんな場面かを話題にしながら、子どもの思いを大切にしたい関わり方を考える。	・ワークシート2
まとめ 5分	●まとめ ・資料を提示する。 ●ふりかえり ・今日の感想を記入する。	・資料(子どもの気持ちに寄り添ったコミュニケーション、子どもの権利条約等)を提示し、子どもへの関わりで意識していきたいことの参考とする。 ・「自分は大切な存在」と子ども自身が感じられるような関わりが大切であることを再確認する。 ・時間があれば、感想を共有する。	・資料2～5より 選択

